

平成29年度 長野商業高等学校 定時制 学校評価表

学校教育目標			重点目標(中長期目標)		
生涯にわたって自ら学ぶ意欲と主体的に生きる資質を養うとともに、民主的社会的な有為な成員としての豊かな人間性の陶冶と個性の伸長に努める。 このため、次の目標を定める。 1 自ら学ぶ意欲と主体的に物事に取り組む態度を育む。 2 個性を尊重し、自己を啓発し、新たな自己実現に向け支援する。 3 社会の変化に適応する柔軟な思考力と豊かな創造力を養う。 4 健康な心身を培い、他人を思いやる情豊かな人間を育てる。			1 基礎学力の定着と、個々の興味・関心・適性等に応じた教育活動の展開。 2 基本的生活習慣の確立と規範意識及び互いに思いやる心を育む教育活動の展開。 3 進路指導の充実とキャリア感覚を持ち、自分の生き方を自ら考え、探求できる生徒の育成。 4 暴力・いじめのない安全・安心な学校作りを推進する。 5 地域や関係機関と連携した教育活動を行い、開かれた学校づくりを推進する。		
			今年度の重点目標 ○自らの力を信じて夢に挑戦できる生徒の育成	達成度	成果と課題
			①学習意欲の醸成と分かる授業の展開	64%	○教科書の例題や練習問題をプリントにして、授業で使い、考える時間を増やせた。 ○対人関係育成のためにも、行事を増やせればと思う。 ◎人権教育へもっと生徒を参加させたい。
			②対人関係能力と協働力の育成	50%	
			③単位制教育の長所を伸ばす教育活動	64%	
			④人権意識が育つ安全安心な学校づくり	43%	
			⑤基本的生活習慣と挨拶を大切にするマナー指導の徹底	71%	
重点目標	分掌	評価項目	評価の観点		成果と課題
④ ⑤	生徒指導	学校生活における公共マナーの向上	○公共マナー遵守への呼びかけや指導がしっかりと行われたか。	57%	○生徒指導主任が昼夜の校外巡視を毎日していただき、地域からのクレームも減りありがとうございました。 ○自転車置き場の雪かき・立ち番指導ご苦労様でした。 ○生徒への声かけ、校内外の巡視等、丁寧な取り組みができています。 ●まだ下履きで入ってくる生徒が数人いました。 ●声を掛けやすい生徒と掛けづらい生徒に分かれてしまった。 ◎交通事故を根絶するにはどうしたらよいか。
			○上下履きの区別、入室時のあいさつの徹底ができたか。	50%	
			○喫煙に対する意識向上や防止に効果が見られたか。	29%	
		交通ルール遵守と交通マナーの指導	○自転車・バイク等に乗る際に交通ルールを遵守しているか、また交通マナーが身についているか。	57%	
		人権を尊重できる生徒の育成と安全・安心な学校づくり	○登校時の指導や校内外の巡視等により、安全・安心な学校づくりが推進できたか。	64%	
		「こころ・生活振り返りチェックシート」の実施	○チェックシート等の確認により問題を把握し、対処できたか。	43%	
① ③	学習指導	学習意欲の喚起	○生徒の実態に基づく授業改善と工夫(UD化等)ができたか。	50%	○プリントを作ることによって、できる生徒は教科書を読んで先へ進む環境が作れた。 ○他の生徒に迷惑をかける生徒は減り、ノートを書く生徒が増え、落ち着いて授業ができてよかった。 ○全職員が担当するジョブリサーチは、生徒にとっても大変良いと思う。 ◎フォークリフトの資格を単位認定につなげてほしい。 ◎商業科として資格取得の呼びかけを積極的に行いたい。
			○一人ひとりの学力や適性に応じた指導がなされたか。	57%	
		商業科目や各種検定で資格取得数や受験者数の増加	○各種検定や資格取得に向けた呼びかけや支援が行われた。	43%	
			○各種検定に少しでも多くの生徒が挑戦しようとしたか。	36%	
			○資格検定合格者が増加したか。	29%	
		シラバスに沿った計画的な授業展開	○シラバスに沿った計画的な授業展開がされたか。	43%	
		キャリア教育計画の実践	○学校設定科目「ジョブリサーチ」を中心としたキャリア教育を実践できたか。	64%	
③	進路指導	個々の特質に応じたきめ細やかな進路指導	○進学・就職試験のマニュアルを作成し、説明会を通して、平等に周知して進めることができたか。	57%	○障がいがある生徒と支援機関の話し合いが特待た。 ●就職面接指導・センター受験指導ができず、もっと関わってほしい。
			○選考開始に間に合う生徒には早めの指導をし、様々な事情で遅れてしまう生徒にも卒業まで粘り強く働きかけることができたか。	64%	
			○職業安定所など外部機関と連携をとり、就職支援ができたか。	79%	
② ④	特別支援	コミュニケーション能力の向上	○対人関係ゲーム等を活用し、生徒の対人関係能力や協調性を高めることができたか。	50%	○勉強や会話が苦手な生徒に声掛けして、コミュニケーションを図った。 ○本校の特色として、きめ細かい支援ができています。 ●今年度は個別支援計画がなかったように思う。 ◎もっと多くの気になる生徒をリストアップする支援を心掛けたい。 ◎家庭の問題など、関係機関との連携を強化していきたい。 ◎特別支援教育を更に機能させたい。
		生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援の実践	○「困難さ」を共有し、担任や特別支援委員会が中心となって支援が行えたか。	64%	
			○障がい(疑い)のある生徒について個別支援計画を作成し、具体的な支援や合理的な配慮が提供できたか。	43%	
			○関係機関と連携した教育活動を実践できたか。	64%	

○良い点、●悪い点、◎課題